

(2) 学生研修

1 材料・応用化学科(応用生命化学教育プログラム、応用物質化学教育プログラム)

本学科では、改組に伴い令和元年度は、応用生命化学教育プログラム、応用物質化学教育プログラムおよび新入生の導入授業である「社会と企業」の一環として、材料・応用化学科の専門科目を学ぶことの動機付けと社会に踏み出す際に必要な心構えについての教育を行うことを目的とした、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社への日帰りの工場見学を約43名ずつ、3班に分けて実施した。

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社の会社紹介を30分程度受け、質疑応答を行った後、それぞれの班をさらに2グループに分けて、CMOS(半導体)の製造のデモ見学と窓越しのクリーンルーム見学を行った

日時:令和元年12月12日(木)

場所:ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社(熊本県菊池郡菊陽町大字原水4000-1)

参加学生数: 1年生130名

参加教職員数: 4名

スケジュール

| | A班 | B班 | C班 |
|-------------------------|-------|-------|-------|
| 集合時間 | 12:30 | 14:00 | 15:30 |
| 熊本大学出発(バスにて) | 12:40 | 14:10 | 15:40 |
| ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング到着 | 13:20 | 14:50 | 16:20 |
| 会社説明 | 13:30 | 15:00 | 16:30 |
| デモ見学または窓越しCR見学*1 | 14:05 | 15:35 | 17:35 |
| デモ見学または窓越しCR見学*1 | 14:20 | 15:50 | 17:50 |
| ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング発 | 14:40 | 16:10 | 18:10 |
| 熊本大学着 | 15:30 | 17:00 | 19:00 |

*1 工場見学はそれぞれの班を2グループに分けて、デモ見学と窓越しCR見学を交互に実施した。

2 材料・応用化学科(物質材料工学教育プログラム)

1年次の導入科目である「社会と企業」の一環として、工場見学を実施した。本学科での学習内容に対して理解を深めるとともに、クラス内の親睦を図ることを目的としている。平成 31 年度/令和元年度の実施概要は以下の通りである。

日 時: 令和元年 12 月 12 日(木)

場 所: ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社(熊本県菊池郡菊陽町原水 4000-1)

目 的: 熊本における製造業をしり, 工学を学ぶことの重要性を理解する.

参加人数:138名(3グループにわけて見学を行う)

内訳:学生132名、引率教員6名((材料系)安藤新二教授、北原弘基助教, 津志田雅之技術職員, (化学系)伊田慎太郎教授, 鯉沼睦央准教授、鬼東優香技術職員)

日程および内容:

12 月 12 日(木曜日)

(Aグループ)

| | |
|-------------|--------------------------|
| 12:40 | 熊本大学出発 (チャーターバス移動) |
| 13:30 | ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング家到着 |
| 13:40-15:00 | 工場見学 |
| 15:10-16:00 | 熊本大学到着. 解散 |

(Bグループ)

| | |
|-------------|--------------------------|
| 13:40 | 熊本大学出発 (チャーターバス移動) |
| 14:30 | ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング家到着 |
| 14:40-16:00 | 工場見学 |
| 16:10-17:00 | 熊本大学到着. 解散 |

(Cグループ)

| | |
|-------------|--------------------------|
| 14:40 | 熊本大学出発 (チャーターバス移動) |
| 15:30 | ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング家到着 |
| 15:40-17:00 | 工場見学 |
| 17:10-18:00 | 熊本大学到着. 解散 |

3 機械数理工学科(機械工学教育プログラム、機械システム教育プログラム)

本学科では、改組に伴い H30 年度から機械数理工学科として研修旅行を実施しているが、本年度は、研修旅行として工場見学を実施した。工場見学は、工学系の学生にとって仕事のイメージをつかむ重要な活動であり、特に1年次初期に専門分野の雰囲気を知っておくことが学習のモチベーションにつながる。新規の事業を始め、若い力を感じさせてくれる会社として今期は、三井三池製作所とオーレックを見学先として選んだ。三井三池製作所では、レアアースの開発などスケールの大きな話、オーレックでは個々にカスタマイズされた農機の話と対照的に異なった視点で設計や製造を進める分野を学生に見せたい思いがあった。OB の方々から何もわからない新入生に丁寧に説明していただき、学生の方は機械の分野に親しみを強く持ったように見えた。2019 年度は早い時期に学生同士や学生・教員間で良好なコミュニケーションをとれる機会を作りたいため、5 月の連休明けすぐに見学旅行を実施した。そのために、教養の授業をできるだけ同じ曜日に履修させ、授業担当の教員に欠席を理解してもらおう努力を行った。また学生自身に欠席の理由を書いた欠席届を授業担当教員に事前に出すよう指導した。その甲斐があり全員参加させることができた。以前のように合宿ができるような時間はとれなかったが、バスの中や高速インター内での昼食などで十分にコミュニケーションをとることができたと感じている。

見学日時:2019 年 5 月 8 日 午前 8:30~17:30

見学者:熊本大学工学部機械数理工学科 1年生 108 名

引率者:1年担任5名及び技術部職員 1 名

見学先:株式会社 三井三池製作所(大牟田)、株式会社 オーレック(八女)

見学時間:1見学場所当たり 1 時間 30 分程度

見学方法:1 組 59 名(学生 56 名、引率 3 名)に分かれ午前と午後で入れ替わり

交通手段:大型バス2台

4 土木建築学科(土木工学教育プログラム・地域デザイン教育プログラム)

本年度は社会環境工学科と建築学科と統合して土木建築学科に改組されて2年目であるが、学科として一括して合格者を出した初年度である。従って、1年生は教育プログラムには属していない。合宿研修はこれまでは1年次に実施されてきたが、学科全体で行うには参加する学生の人数が多すぎる事、その人数を収容する施設を準備することが容易でない事、教育プログラムに所属した後に関連する施設や現場を訪問して研修を行う方が有用であることなどの理由から、1年次には実施せず、教育プログラムに配属された2年次に実施することとなった。

5 土木建築学科(建築学教育プログラム)

令和元年度は実施なし。

6 情報電気工学科(情報工学／電子工学／電気工学 教育プログラム)

情報電気工学科一年次の合宿研修を下記の通り一泊二日の日程で実施した。

日 時：2019年(平成31年)4月14日(土)～15日(日)

場 所：熊本県立天草青年の家

参加者：1年生 152 名 参加大学院生数：20 名 参加教職員数：12 名

スケジュール：

| 4 月 13 日 (土) | | 4 月 14 日 (日) | |
|--------------|-----------------|--------------|-----------------|
| | | 06:30 | 起床, 寝具の整理, 洗面 |
| | | 07:00 | 朝のつどい, 清掃 |
| | | 08:00 | 朝食 |
| 08:15 | 大学集合, 点呼 | | |
| | | 09:00 | コース分け説明会 |
| 09:00 | 大学出発 | | |
| | | 10:00 | 研修③ |
| 11:00 | 研修所到着 | | |
| 11:30 | 入所式(オリエンテーション) | 11:30 | 退所式 |
| 12:00 | 昼食 | 12:00 | 研修所出発 |
| | | 12:15 | 千巖山展望所駐車場到着, 昼食 |
| 13:00 | 研修① | 13:00 | 千巖山展望所駐車場出発 |
| | | 13:15 | リゾラテラス天草到着 |
| | | 14:15 | リゾラテラス天草出発 |
| 15:00 | 自由時間(レクリエーション) | | |
| | | 15:45 | 大学到着, 解散 |
| 16:30 | 連絡会(タベのつどい係は集合) | | |
| 17:00 | タベのつどい | | |
| 17:30 | 夕食, 入浴 | | |
| 19:00 | 研修② | | |
| 20:30 | 交流会 | | |
| 22:00 | 就寝準備 | | |
| 22:30 | 消灯 | | |

主な研修内容：

1 年生 152 名を 20 班に分け、次の 3 つの研修を実施した。

研修①:「もっと友達を作ろう・深く知ろう」を目的に、偏愛マップ作成を通して相互に自己紹介をする。

研修②:「アイデアやデザインについて討論しよう」を目的に、班毎に討論し、プレゼン資料を作成する。

研修③:「チームとしての検討結果を他の人に効果的に伝えよう」を目的に、研修で作成した資料を使ってプレゼンテーションをする。なお、本研修に先立ち、情報工学、電子工学、電気工学の 3 つの教育プログラムとプログラム配属についての方針を説明した。

7 機械数理工学科(数理工学教育プログラム)

本学科では, 改組に伴い H30 年度から機械数理工学科として研修旅行を実施している。

新入生の導入授業である「工学基礎実験」の一環として, 機械数理工学科の専門科目を学ぶことの動機付けと社会に踏み出す際に必要な心構えについての教育を行うことを目的とした日帰りの研修旅行を実施している。

詳細については機械数理工学科(機械工学教育プログラム、機械システム教育プログラム)の研修旅行報告書を参照されたい。